



のだし

野田市東部広域協定（千葉県野田市）

- 本地域は、野田市の東部に位置し、利根川と江戸川にはさまれた水田地帯です。平成19年度から活動しており、平成26年度からは、東葛北部土地改良区の協力もあり、東部地域、福田地域からなる広域活動組織です。
- 「コウノトリの舞う地域づくり」を標語に、コウノトリ等様々な生き物が住めるような環境づくりや幼稚園・小学校・中学校と連携した農業体験に取り組むなど子供達への農業教育にも積極的に取り組んでいます。

【地区概要】

- ・取組面積：257.6ha
(田244.5ha、畑13.1ha)
 - ・資源量：開水路 29.0km
農道 31.8km
 - ・構成員：農業者団体、環境保全団体、自治会、土地改良区等
 - ・交付金：約21.4百万円
- 〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

地域の活動内容

- 草刈りでは、担い手がスライドモアなど大型機械で刈り、機械で刈れない部分を共同活動で刈るなど、分担を決めて効率的に実施しています。
- 耕作放棄地について地権者と契約し、耕作可能な状態まで戻しました。



大型機械による草刈作業

耕作放棄地解消作業



地域ぐるみの農村環境保全活動

- 農道沿いにコスモスやアジサイを植栽しています。
- 野田市では、「コウノトリの舞う地域づくり」を標語に、減農薬・減化学肥料のための玄米黒酢の散布を実施しており、広域協定においても環境保全活動を行っています。



アジサイの植栽

環境保全活動
(野田市黒酢散布)



取組の効果

- 広域協定によるコウノトリの保全を通して、自然保護の関心が高まっています。
- 学校と連携した農業体験や生き物調査は、学校行事として定着し、子供達への環境教育に貢献しています。
- 農業者による互助転作組合及び土地改良区との連携が深まり、地域においては、中間管理を活用した集積率は8割以上で農地集積が進んでいます。



農業体験
(田植え)

生きもの調査

